



2月 園だより

令和6年2月1日
第三ひもんや保育園園長

先日1歳児クラスの子どもがテラスのベンチに座り一生懸命靴下を履こうとしていました。傍らで見守っていると、ちらっとこちらを見てまた履くことに集中しています。靴下のかかとを整え、靴のマジックテープも何度もやり直し納得すると「できた」と嬉しそうに砂場にいた担任のもとへ戻っていきました。その姿から手先の発達と共に安心できる保育士との関係性を垣間見る事が出来、心の成長を感じました。乳児期に獲得していく発達の一つに「話し言葉」があります。言葉の発達には、応答的な関わりや手や指の働きが関係しています。日頃から子どもたちは変化する素材に触れたり、道具を試すなど手や指を使う働きかけを楽しみながらその力を培っています。今月は乳児期から取り組んでいる描画の様子をご紹介します。0歳児クラスでは肩からひじ、手のひら、指先と身体を中心部分から末端部分の発達を促しながら保育士との関わりを深めています。1歳児クラスでは表現したものに意味をつけながら話をするを楽しみ、2歳児クラスになると話し言葉が豊かになりイメージを広げながら描くことを楽しむ姿へと成長していきます。出来るからやらせるのではなく、発達の時期にふさわしい活動に見通しを持ちながら子どもの「今」に寄り添う経験を大切にしていきたいと思ひます。

2月の予定

節分集会
街ごっこ
街ごっこ
懇談会（0歳児クラス）
懇談会（3歳児クラス）
身体計測・避難訓練（全園児）

3月の予定

ひなまつり
卒園式（5歳児）
幼児お別れ遠足
5歳お別れ遠足
クラス移動日
お別れ会



乳児クラスの描画の様子

乳児クラスでは思い思いの色を使って自由に描くことを楽しんだり、表現することの面白さを味わっています。子どもの表現をじっくりと聴き、形になる事を急がずに見立てつもり（意味づけ）の活動が豊かになるような関わりを大切にしています。



0歳児クラス

自分で好きな色のペンを手に取り、腕を動かして描いています。自分で描いている線を見たり、指をさす姿が増えてきました。保育士の目を見て「あ、あ」と声を掛けてきたので「描けたね」と応えると、満足そうにまた描くことに夢中になっていました。子どもの気づきに寄り添いながら関わっています。

1歳児クラス

子どもと保育士の1対1で描画を行っています。話を聴いてみると「ママなの」と教えてくれます。子どもたちが描いたものの意味づけに共感しながら「もっと描きたい」「楽しい」と感じられるように関わっています。



2歳児クラス

描いた絵を「おばけなの」と言い、保育士が「大きいおばけね」と応えると「ママのおばけなの、お散歩に行くの」とイメージをさらに広げて話しています。保育士との対話を楽しみ、描くことや自由にイメージする事が楽しいと感じられるように、子どもの言葉に沢山共感しながら関わっています。



街ごっこの取り組みの様子（幼児クラス）

幼児クラスでは日常生活で経験したことを再現して遊ぶ「街ごっこ」という行事に取り組んでいます。今年度は3歳のお店、4・5歳児異年齢交流でお店を開きます。それぞれのお店の準備の様子をお知らせします。

みつばちへんしん屋さん（3歳児クラス）

子どもたちは部屋でスカートやヘアバンドなどを身に着け、おしゃれをしたりお姫様になりきったりして遊ぶことが大好きです。「先生にもつけてあげるね」とビーズのネックレスをいくつも首に飾りつけてくれ、髪にはクリップをつけるなどヘアアレンジをしてくれています。子どもたちの姿から、街ごっこではへんしん屋さんを開店することにしました。最初に変身した後の撮影に使うカメラや身に着けるかばん作りが始まりました。好きな色の画用紙を選んでハサミで形を切ったり、貼る時はボンドを使い「なんか匂いが違うね」と普段使用している糊とボンドの違いを感じたりしていました。また、ネックレス作りでは手元をよく見ながらストローの小さな穴に紐を通しました。穴に毛糸が通ると「できた」と達成感でいっぱい笑顔が見られました。子どもたちの“作ってみたい”を形にしながらかごっこの品物作りをしています。当日は思う存分ごっこ遊びを楽しみたいと思います。



もりのあかり高級ホテル

はじめの話し合いで沢山の案がでました。それを全部かなえるため、希望の一つだったホテルをオープンしようという事になりました。「バイキングがあって、児童館のようなキッズコーナーを作りたい」「お部屋は豪華な感じがいいよね」「宝くじのコーナーでみんなを楽しませたいね」とイメージは膨らみます。まずは遊べるコーナーの制作にとりかかりました。年上のかぶとむし組が紙を切るとんぼ組が絵を描いて、とそれぞれに作業が進みます。始めは「何をすればいいの」と自分のすることが見つからなかったり、絵本を読み始めてしまう子がいたりなど難航しました。そんな中で、紙を短冊状に切る作業をしていた5歳児が、紙を折り曲げて等分に切る方法を考え出しました。みんなが感心してその子の作業を見守ります。どう進めていいのかわからなかったところから、自分なりに工夫すればいい事に気づいたようです。またメンバーは日頃からペアを組んできた仲間同士なので作業が進むにつれ「切るの上手だね」「その色きれい」など互いのいいところを褒め合い、和やかな雰囲気になってきました。クラスの枠を超えて認め合える事ができはじめた子どもたちなので、きっとホスピタリティー満点のホテルができあがる事と思います。



アクアどうぶつワールド

街ごっこに向けて、何のお店にしようかと子どもたちと話をすると、いろいろなお店が出てきました。皆がやりたいものを組み合わせ、動物園と水族館とレストランが合体した「アクアどうぶつワールド」に決まりました。お寿司を作っていると「マグロがおいしいよね」「いくらも好き」と、自分が食べたものを思い出して作ったり、クラゲを作っていると、プチプチを見て「これに色を塗って中に入れたらきれいなんじゃない」「足はいろんな色にしたい」と、次々とイメージがわき一緒に作って楽しんでいました。動物園にいる大きい動物は、かぶとむし組が中心になり模造紙に描いていました。色塗りにとんぼ組も加わり、色を塗るところに迷っていると「ここに塗って」とさりげなく教えながら関わっています。水族館ではイルカショーもあり「自分たちでイルカになりたい」と、どんなショーにしようか考えています。「餌やりもあると来る人が楽しいよね」とお客さんの事にも思いを巡らせています。動物も魚もショーも見られ、レストランもある巨大エンターテインメント施設に期待がふくらんでいます。

